

V 区民活動

1. 住民組織

令和7年1月1日現在

区 分	連 合 町 内 会 数	単 位 町 内 会 数	総 世 帯 数	単位町内会 加入世帯数	総世帯数に対す る加入率(%)	単位町内会平 均加入世帯数
市 計	90	2,174	1,004,838	691,902	68.86	318
中 央 区	16	256	150,043	93,398	62.25	364
北 区	11	314	143,854	102,730	71.41	327
東 区	10	275	134,515	91,589	68.09	333
白 石 区	8	142	112,869	69,406	61.49	488
厚 別 区	6	82	58,670	43,332	73.86	528
豊 平 区	9	289	125,023	82,747	66.19	286
清 田 区	5	102	45,984	34,936	75.97	342
南 区	10	246	62,949	49,863	79.21	202
西 区	8	278	108,267	76,072	70.26	273
手 稲 区	7	190	62,664	47,829	76.33	251

注) 総世帯数は、「国勢調査」の数値を基礎に、毎月の住民基本台帳による人口の増減を加えて算出した推計人口・世帯数（国勢調査ベース）。

2. 地区集会施設

令和7年4月1日現在

区 分	合 計	市 設 置 施 設					地元施設
		小 計	地区集会所	地 区 会 館	地域会議室	その他の会館	市民集会施設
市 計	329	71	2	58	3	8	258
中 央 区	20	11	0	11	0	0	9
北 区	47	8	1	7	0	0	39
東 区	42	9	0	7	1	1	33
白 石 区	28	8	0	7	0	1	20
厚 別 区	16	4	0	4	0	0	12
豊 平 区	25	8	0	7	1	0	17
清 田 区	43	3	0	3	0	0	40
南 区	59	10	1	5	0	4	49
西 区	23	7	0	5	1	1	16
手 稲 区	26	3	0	2	0	1	23

注) 地区集会所：区出張所に併設の集会所（市管理）、地区会館：まちづくりセンターに併設の集会施設

その他の会館：市が所管する市民集会施設

3. 未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業（各区の主要事業は令和6年度）

(1) 事業の概要

市民に身近な区の創意や裁量により、区や地域の特性を生かした魅力的で活力ある地域づくりを進めるため、市民の主体的なまちづくり活動に対し、様々な側面から支援を行う事業として平成4年度から実施していた「区のふれあい街づくり事業」を拡大発展させ、地域の主体的なまちづくり活動を支援することとした「元気なまちづくり支援事業」を平成17年度から開始した。その後、多様な主体のネットワーク化促進や「地域まちづくりビジョン」を策定した地域に対する支援など、「市民力の結集」の実現に向け、平成28年度には「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」として再編しスタートした。

札幌市自治基本条例が施行されたことにより、平成19年4月以降は、まちづくりセンターと区役所を地域の拠点と位置づけ（第28条・第29条）、より地域住民との協働を進めるため、事業全般にわたって「まちづくりへの市民参加（第23条）」「わかりやすい情報提供（第26条）」に特に注力し事業を実施している。

当該事業の実績では、7割以上が住民主体でなされており、地域住民の参加によるまちづくりを継続的に支援することができる事業となっている。

なお、事業の運営に関しては、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業運営要綱」（以下「要綱」という。）により定めている。

(2) 事業の内容（令和6年度の取組）

事業内容については、要綱で定めた下記ア～オの事業内容を基本とし、各区で次のような点に着目して事業を展開した。

ア 地域住民のふれあい・交流、まちづくり団体による情報の共有・交流やネットワークの形成など、地域住民の主体的な「まちづくり活動※」を支援するために効果的な事業

イ 区や地域が持つ自然・文化・歴史・産業・教育研究機関・企業などの資源や人材を活用し、又は様々な地域課題の解決に向けて実施する事業

ウ 地域のまちづくり活動を通じて、男女共同参画の推進、豊かなスポーツ環境の創造、高齢者の生涯学習や生きがいづくりを行うことを目的とした事業

エ 区民協議会の活動への支援や同協議会の意見等を活かして区のまちづくりを活性化することを目的とした事業

オ 将来の展望とその実現に向けた活動指針である「地域まちづくりビジョン」に資する事業

※ まちづくり活動：地域（まち）が抱えている課題に対応して、建物などの整備や活動の実践により解決を図り、暮らしやすいまちを創っていく活動のこと。

(3) ホームページ・アドレス

札幌市役所－市民自治の推進HP内－自治基本情報の具現化に向けた取り組み－「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」のページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/gugenka/miku-machi/top.html>

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～中央区～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンターを拠点としたコミュニティづくりや、地域課題の解決に向けた取組など、地域住民が主体となって進めるまちづくり活動事業に対し、助成を行うとともに、活動支援を行った。
区役所からの積極的な情報提供と区民との情報交換	まちの魅力再発見事業	WEBサイト「まちのモトマップ」を開設し、市民が自らまちの魅力を取材した現地レポートや区内の各スポットの歴史の変遷を紹介するデジタルマップを掲載した。
互いに助け合い、安全・安心を実感できるまちづくり	認知症周知強化事業	認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けられるよう、正しい知識の普及を目的に認知症パネル展の開催、オレンジガーデニングプロジェクトの実施、区内5か所の認知症カフェと共同で認知症合同カフェを開催した。また、認知症について早期相談・早期受診ができる区民を増やすことを目的に、中央区認知症診療医療機関一覧を更新し、区内関係機関と連携して区民に周知を行った。
子どもの健やかな成長を育むまちづくり	世代間交流子育てフェスタ	子育て環境の充実を図ることを目的に、7月（区民ホール）と1月（向陵中学校）、地域の子育て関係者や団体と、企画運営委員会形式で子育て世代を対象としたイベントを行った。
いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり	元気がつながるまち・ちゅうおう	自主活動グループが企画するウォーキング会と交流会の開催支援、健康づくりを担う人材育成講座の開催、Cスポーツパーティーへの普及啓発コーナー出展など、幅広い年齢層の意識向上を図った。
	食をキーワードとした地域活性化事業	高齢者の低栄養予防として、食事量が減った分を間食で補うことが出来るように「簡単間食レシピ集」を食育ボランティアの協力を得て作成した。また、食を通して健康寿命の延伸の一助となる情報提供や「簡単レシピ集」を活用した調理実習など食育講座を開催し、交流の機会を設けた。
誇りと愛着を持てるまちづくり	アタック・ザ・531M	家族や友人との絆を深めるとともに、自然に親しむことにより、豊かな自然を守る意識を育てることを目的として、藻岩山登山を実施した。
	協働による地域の環境美化事業	中央区道路環境美化活動（アダプト・プログラム）に基づき、活動団体が継続的に行うごみ拾い等の環境美化活動に対して、清掃用具等の支給、ボランティア保険への加入等の活動支援を行った。
	Cスポーツパーティー	子どもを対象に様々なスポーツを体験する機会や場所を提供することで、体力や運動能力の向上及び健康増進を図るとともに、体を動かす楽しさを再認識してもらうことを目的として、複数のスポーツプログラムを開講した。
	中央区マスコットキャラクター活用事業	区マスコットキャラクター「中ウオークン」の幅広い世代への周知を図るため、区で実施する様々な事業において、キャラクターのノベルティを記念品等として配布したほか、着ぐるみを活用してPRした。また、LINEスタンプの作成や学生が制作したPR動画のコンテストを実施した。
身近な暮らしの中から地球環境を考えるまちづくり	ふれあいフラワー事業	地域住民同士のふれあいの機会の創出や地域の環境美化意識の向上、地域活動の活性化等を目的に、幼稚園児・小中学生と地域住民が主体となり、歩道植樹樹やJR桑園駅前広場で植花を行った。
	旭山記念公園の自然を活用した環境体験学習	子どもたちに自然環境の大切さへの理解を深めてもらうことを目的に、市民活動団体が旭山記念公園で行う自然にふれあう様々なイベントに対して支援を行った。
地域ネットワーク促進事業	すすきの地区における児童虐待発生予防に向けた見守り・支援ネットワーク事業	地域住民や関係機関と連携し、すすきの周辺地域における子どもの見守り・支援ネットワークの構築を目的として、座談会や若者向け講座等を開催した。

北 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちセンによる地域課題解決・活性化促進	まちづくりセンターが主体となり、各地域の活性化や課題解決に資する取組を実施した。
	地域コミュニティ交流促進事業	連合町内会が実施する地域コミュニティ活動に対して助成による支援を行った。
	地区まちづくり協議会活動支援事業	地域のまちづくりに携わる各種団体が構成される「地区まちづくり協議会」が実施する、まちづくり活動に対し、助成による支援を行った。
	まちづくりセンター機能強化事業	まちづくりセンターの、地域に対するアドバイザー・コーディネーター機能を高めるための環境整備等を行った。
わがまち・地域活性化事業	北区職員プロジェクト	北区職員のプロジェクト会議を構成し、北区の業務運営について意見交換を行い、各種活動の推進を図った。
	子ども記者広報参加事業	小学生記者を募集し、小学生の視点から広報さっぽろを制作することで、読者にとって、より親しみやすく読みやすい誌面の提供を行った。
	学生と地域の連携によるまちづくりの推進	地域の児童・学生・町内会が協働で行う活動に対して助成による支援を行い、学生の地域活動への参加を促した。
	北区アダプト・プログラム支援事業	北区内の道路などの清掃活動を希望する企業や団体を対象に、北区と各団体が覚書を交わし、協働による環境美化活動を推進した。
	「ぽっぴいフェスティバル」事業	多様な団体の活動を発信する機会を設けるとともに、世代や地域を超えた幅広い区民の交流を喚起した。
	木製玩具配布事業	北区に生まれた子どもたちに、北区に対する愛着を深めてもらうことを目的とし、4か月児健診の受診者に対し木製玩具の配布を実施した。
	北区歴史と文化の八十八選保存継承事業	北区歴史と文化の八十八選を資源として活用し、認知度や活用の向上を図ったほか、劣化した看板の修繕等を実施した。
	北区農村歌舞伎の保存・継承	地域で農村歌舞伎を保存・継承する団体が主催する公演活動等に係る費用の助成を行った
	亜麻の魅力発見事業	北区の歴史にゆかりのある亜麻を植栽するフラワーロード事業や北区と亜麻栽培との関わりを知るイベントの開催等を実施した。
	「藍栽培」の歴史と文化伝承	区内の学校において藍栽培の歴史を学ぶ授業、藍染体験授業を実施したほか、藍の種の配布やリーフレットを活用した広報・啓発活動を行った。
	北区地区防災マップづくり支援	自主防災組織を結成し、地区防災マップの製作に取り組む町内会又は自治会を対象に製作費を助成した。
	みんなでつくる安全で安心なまちづくり	地域の安全で安心なまちづくり活動を推進するため、スクールゾーン標識の整備や補修等を行った。
	災害時につなげる高齢者等要配慮者の見守り体制推進	地域における「見守り、支え合い」活動を推進するため北区地域福祉活動実践セミナーにおいて要配慮者避難支援の取組を紹介し、啓発を行った。
	GO!GO!きたっこまつり in ぽっぴいフェスティバル	乳幼児とその保護者が、地域住民と遊びを通して交流するイベントを実施し、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進した。
	北区ガイド作成事業	北区の地図や歴史・文化などを掲載した「北区ガイド」を作製し配布した。
	「ぽっぴい」×「北区の魅力」発信	北区まちづくりキャラクター「ぽっぴい」と「北区の魅力」のイラストを用いた啓発品等を制作・活用し、北区のイメージアップを図った。
	若者支援・連携事業	北海道大学の学生との協働として「まなびの秘密基地」、「二十歳を祝う会」への出演、雪合戦大会での演舞披露、ボランティア従事等により連携した。また、武蔵女子大学・短期大学及び藤女子大学とも雪合戦大会でのボランティア従事により連携した。

	北区少年少女スポーツ大会	区内在住または区内の小学校に通う小学生を対象にスポーツ大会を実施。レバンガ北海道の協力のもとバスケットボール体験教室、北海道コンサドーレ札幌の協力のもとバドミントン体験教室を行い、スポーツを通じた少年少女の健全育成及び「スポーツ元気都市さっぽろ」の推進を図った。
	冬季スポーツを通じた区民の健康・体力づくり	区民を対象に雪合戦大会を実施。雪中での遊びやスポーツに気軽に触れられる機会を提供し、冬季スポーツの普及と冬季における区民の健康・体力づくりを図った。
	高齢者教室（北親大学）	区内の 65 歳以上の方を対象に、生涯学習を支援する高齢者教室「北親大学」を開催した。
区民協議会特別推進枠	北区まちづくり協議会支援事業	「北区まちづくり協議会」に参加する団体間の情報共有や活動テーマに対する理解の深化、連携の形成等が活発になるよう支援した。
	北区地域防災力レベルアップ事業	北区の地域防災力向上のための防災事業として、区防災訓練や防災リーダー研修のほか、地域の防災事業支援を実施した。

東 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	栄東地区まちづくり活性化事業	地区のまちづくりビジョンを踏まえ、栄東地区を「安全安心で活力と魅力あふれるまち」となることを目的とする「栄東地区まちづくり未来会議」により、「ICT活用による情報発信事業」、「子どもに対する情報発信事業」、「ちびっこなつまつり事業」、「雪まつりウエルカム事業」、「花いっぱいプロジェクト事業」の5つの事業を実施した。
	元町地区多世代交流事業	元町地区の中・高校生を中心とした「元町の未来へつなぐプロジェクト」で元町のまちづくりを話し合い、若い世代が主体となった地域活動を促進した。開成中等教育学校、札幌工業高校、元町中学校、札幌中学校などの生徒が中心となり、元町会館前広場（愛称：もっちー広場）、元町会館を活用した交流イベントの企画、運営を行い、元町まちづくり連合会が協力・連携をした。
地域ネットワーク促進事業	地域と大学等の連携による東区健康づくり事業	東区で健康づくりを実践している各団体及び東区と連携協定を結んでいる札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、天使大学、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学との連携により、ウォーキングに関する内容や地域での健康づくり活動に関する内容のパネル展を開催した。
わがまち・地域活性化事業	東区広報ラジオ番組「タッピー通信」	コミュニティFM「さっぽろ村ラジオ」で、区政情報や区内のイベント情報などを紹介。まちづくりをテーマとした親しみやすい番組を放送した。
	札幌黄PR事業	東区の農産物である「札幌黄」の存在や魅力を継承していくためのPR事業。令和4年度については、区内外のイベントにおける情報発信や「札幌黄フォーラム」を実施したほか、札幌黄の歴史や特徴についてまとめた小冊子「札幌黄物語」の増刷を行った。
	東区まち美化プログラム	環境美化に対する市民意識の高揚と協働によるまちづくりの推進を目的として、東区内の団体と東区役所が覚書を交わして実施する道路清掃等の環境美化活動。令和6年度は新たに1団体が参加し、令和6年度末時点で通算34団体の参加となった。また、感謝状贈呈基準を満たす5団体に対して、感謝状等の贈呈を行った。
	フラワーロード事業	地域団体や町内会、商店街等が連携して、花による魅力ある街並みづくりの形成を目指すことにより、地域美化及び交流の促進を図ることを目的として、地域住民が主体となり、モエレ公園通と北8条通において植花活動を行った。
区民協議会特別推進事業	声かけあい、支えあうひがし区民協議会支援	地域において「きずなと信頼、安心・安全」が育まれることを目指して区民協議会の構成団体が行っている「あいさつ声かけ運動」の支援や、各地区での防災訓練・防災研修会支援、小学校での防災教育支援を実施した。

白石区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくり活動支援事業	地域の特性を活かした市民自治によるまちづくりを進めるため、各まちづくり協議会等が行う、防犯・防災、環境美化等の地域課題解決に向けた取組や魅力ある地域づくりの活動に対して、必要な経費を助成するなどの支援を行った。
わがまち・地域活性化事業	地域ふれあい・交流支援事業	住民相互の連帯感の醸成と区民意識・ふるさと意識の高揚を図るため、地域におけるコミュニティ形成に効果のある行事・事業を支援した。
	しろっぴーフォトコンテスト	冬期間に気軽に身体を動かす機会を地域住民に提供し、健康・体力の増進を図ること、未来のまちづくりを担う子どもたちの創造力と独創性を育むことを目的とし、区のマスコットキャラクター「しろっぴー」をモチーフとしたフォト&イラストコンテストを「雪だるまフォト部門」、「イラスト部門」の２部門で実施した。
	白石区マスコットキャラクター「しろっぴー」「くろっぴー」活用事業	キャラクターを通じて区への愛着を深めたり、地域の活性化を推進するため、「しろっぴー」、「くろっぴー」の意匠提供、着ぐるみ等の物品の貸出を行った。
	中学生の主張発表会	自分の考えを表現できる力を養うことを目的として、区内の中学校２、３年生の生徒を対象として、自分が普段思っていることや感じていることを発表する場を提供した。
	ニューススポーツふれあい事業	町内会やＰＴＡ、地域のサークルなどの行事でニューススポーツを気軽に楽しんでもらうため、用具の無料貸出しを行った。
	地域の安心安全まちづくり支援	しろいしアクション 2024 の目標である「安全・安心なまちづくり」に掲げる「地域防災力の強化」を推進するため、地域の防災活動に必要な物品や講師派遣費用等の支援を行った。
地域ネットワーク促進事業	まちづくりイベント広場活用事業	白石区複合庁舎の「まちづくりイベント広場」を地域団体等のまちづくり活動の場として提供するとともに、開催イベントの情報発信を通して、まちづくり団体の取組の支援を行った。
	しろいしスイーツプロジェクト	子どもをはじめとした区民が白石区の魅力に自ら気付く機会を創出するとともにハロウィン等の機会を通じて区内の菓子店・ベーカリーなどの資源・魅力を広く発信するため、区内菓子店・ベーカリーを巡るスタンプラリーと集客イベントを実施した。
区民協議会特別推進事業	区民協議会特別推進事業	「安心・安全」をテーマとした取組として、自転車シミュレーターを活用した交通安全マナー講習や、子どもの緊急時の対応力を向上させることを目的とした「子ども１１０番の店」駆け込み・通報訓練、防災について親子で楽しく気軽に学んでもらうためのイベント「白石おやこ防災フェスタ」の開催等を行った。

厚別区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業 (各地区のまちづくり会議支援)	厚別中央～厚別中央地区青色防犯パトロール支援事業～	地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、青色回転灯による自主防災パトロールを強化し、児童の見守り活動の推進を図るため、活動用品を購入。さらに、小学生の登下校を見守る地域の方と児童の対面式を、年度当初に各小学校で実施し、新1年生へ交通安全、防犯啓発品を配布した。
	厚別南～厚別南地区陽だまりロード交流事業～	象徴的な地域資源である「陽だまりロード」を舞台に、ウォーキングをしながら、途中、高校生による4か所のチェックポイントにおけるゲームやクロスワードにチャレンジしてゴールを目指す。ゴールでは参加賞やクロスワードクリア賞を渡すほか、健康度チェックや交通安全クイズなど、多世代が交流するイベントを支援した。
	厚別西～子育て支援マップ&カレンダー製作事業～	厚別西地区の子育て支援情報を幅広く周知し、地域間の交流を活性化することにより、安心して子育てができる環境づくりを支援。厚別西地区内で開催される予定の地域主体の子育てサロン4か所の場所、開催日程を掲載した「子育て支援マップ&カレンダー」を製作し配布した。
	もみじ台～小学校児童との地域交流事業～	児童と地域住民が交流する機会を創出するとともに、児童がもみじ台地域に愛着と親しみをもち、住民とのコミュニケーションを通じて地域との絆を深めるため、もみじ台地域の小学校と地域住民で農作物の栽培などを共同で実施した。
	青葉～青葉中央公園ジャック（青葉中央公園花いっぱい運動）～	花壇の手入れや鑑賞などで公園を訪れる機会を増やし、地域住民間の交流促進を図るほか、環境整備、自然環境保護への関心を高めるため、青葉中央公園の花壇へ花植えを実施した。
	厚別東～ワイワイ夏フェスタ in くりの木～	厚別東地区の子育て世代と地区内28団体との交流を目的として、乳幼児とその保護者にビニールプール、金魚すくい、体操、歌などの遊びを提供。まちづくり会議、青少年育成委員会、民生委員児童委員協議会などが主体となり、児童会館やミニ児童会館の小学生、地区内の中学生、高校生もボランティアとして参加した。
わがまち・地域活性化事業	新さっぽろ冬まつり	新さっぽろ駅周辺地区のにぎわいづくりや、子どもたちに対する冬の楽しみの提供を目的に、ふれあい広場あつべつ及び科学館公園にて、雪を楽しむ冬の遊び場の提供（すべり台、雪像、雪を使った制作体験）、スノーキャンドルの設置等を実施した。
	厚別区広報ラジオ番組「厚別ふれあい・ほっと・ステーション」	厚別区を主な聴取地域とするコミュニティFMラジオにおいて、週1回15分間程度の番組を制作・放送。区民などのゲストを招き、地域のまちづくり活動などの紹介を行い、区民のまちづくり活動への参加意識を高めた。
	地域における安全対策の推進事業	安全・安心に暮らすことができるまちづくりの推進のため、交通安全と防犯について、小学校には子ども地域安全マップの冊子データを配布したほか、希望する小学校に交差点付近の歩道上に設置するストップマークを作成し配布した。 また、地域とは秋と冬に冬期間の除雪の妨げとなる路上駐車防止を啓発するため4地区と連携して迷惑駐車パトロールを実施した。
	厚別区スポーツチャレンジ	誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じた健康増進や地域活動への参加促進を目的に、ニュースポーツ体験会を開催することで、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、体験できる場を提供した。
	高齢者教室「瑞穂大学」	多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持てるよう、高齢期に必要とされる知識や能力を養い、仲間とのふれあいを通じて、社会参加の意欲をより強くしていくことを目的に、区内65歳以上の高齢者を対象として週1回2時間程度の講座を行った。
区民協議会特別推進事業	区民協議会支援事業	区民が主体となり、創意工夫によるまちづくりを推進するため、区民協議会の運営（運営委員会等の開催）について支援した。
地域ネットワーク促進事業	フォトコンテスト共同開催事業	産官学連携の取組として、北星学園大学・株式会社札幌副都心開発公社との協働により、厚別の魅力の再発見・発信を目的としたフォトコンテストを開催した。

豊平区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
地域活動を活性化 するまちづくり	コミュニティ活動支援事業	地域住民の主体的なまちづくりを支援するため、地域のコミュニティ活動に対して助成金の交付を行った（9地区合計93事業に交付）。
	とよひらスポーツ健康ウォーキング事業	6月と9月に、それぞれ区内のウォーキングコース周辺の見どころ紹介や地域のスポットに関するクイズを出題するウォーキングイベントを実施することで、誰でも気軽に取り組める健康づくり（スポーツ）として「ウォーキング」を広く推進し、区民の健康増進を図った。 その他、スマホアプリを使った歩数競争イベントの開催や、地域のウォーキングイベントの支援、ウォーキングマップの更新を実施した。
	地域スポーツ振興事業	地域のスポーツ振興及びスポーツを通じた地域コミュニティの醸成を図るため、豊平区スポーツ推進委員と連携し、野球大会やドッジボール大会といったスポーツ事業を実施するとともに、区のスポーツ振興に寄与すると認められる豊平区内の各スポーツ団体の大会を支援した。 その他、幅広い世代にスポーツを楽しむ機会を提供し、競技に親しみを持ってもらうことを目的に、地域に向けたスポーツ用具の貸出を行った。
	とよひらフラワーコンサート	区内の音楽振興と、学校と地域の交流促進によるまちづくり活動の活性化を目的として、カナモトホールでコンサートを開催し、区内の小・中学校、高校、大学、一般の22団体が演奏を披露した。
	プロスポーツ応援デー連携事業	区内のプロスポーツチームが実施する豊平区民を対象とした無料招待（区民応援デー）への協力を通じて、スポーツ観戦文化の浸透を図った。 また、各プロスポーツチームと連携し、競技やチームに親しむきっかけづくりとして、区内の小学生を対象とするスポーツ体験会を実施した。
	「魅力発見 ほ～！へ～！カルタ」の普及啓発	区内の歴史やシンボルなど、豊平区の魅力を集約したオリジナルカルタ「魅力発見 ほ～！へ～！カルタ」の一層の普及を図るため、1月に大和ハウス プレミストドームで開催されたチャレンジ！スポーツパークにて体験会を行った。また、2月には区内の小学生を対象としたカルタ大会を北海きたえーる柔道室にて開催した。
	豊平区キャラクター活用事業	区のキャラクター「こりん」と「めーたん」の意匠や着ぐるみの利用を促進し、区の事業や地域行事等に活用することで盛り上げを図り、区への愛着を深めた。また、「こりん」と「めーたん」の誕生20周年を記念し、区役所の玄関をキャラクターイラストで飾りつけたほか、着ぐるみ用のスポーツチームユニフォームを製作し、各チームの応援に駆けつけるなど、「こりん」「めーたん」に愛着を持っていただく活動を実施した。
	とよひら“風土”コレクション	「朝ごはんは野菜を食べよう！」をテーマとした「ベジモーニング」事業や、食育の知識や技術を持った専門家を「とよひら食育先生」として派遣するとともに、体験型セミナーを開催するなど、豊平区の地域資源（歴史、産業、地域、教育研究機関、企業等）を活用した食育事業を実施した。
安全・安心な暮らしを支えるまちづくり	「豊平区ネットワーク会議」運営事業	地域住民と行政など関係機関等の連携と協働により、安全安心で心豊かな住みよいまちづくりを進めるため、まちづくりに関わる区内の様々な団体が協議や情報共有を行っている。令和6年度の全体会議では、同年度の取組報告や次年度の計画について共有したほか、防災の知識を学べる体験型ブースの設置や、異常気象や風水害に対する備えに関する講演会を実施した。また、夏まつりなどの地域行事の担い手が不足・固定化しているとの課題への対応として、豊平区内の大学に通う学生やまちづくりパートナー企業の従業員から応援を募る取組み（とよサポネット）を試行実施した。
	「安全・安心なまちとよひら」推進事業	小学生の交通事故防止をはじめ地域住民の交通安全や意識の向上を促すため、歩道に貼るストップマークの小学校への配布を行った。 また、地域住民の適切な避難行動につなげるため作成した「豊平区防災マップ区拡大版」の時点更新を行った。 さらに、特殊詐欺や侵入犯罪に遭わない防犯対策を学ぶ「地域防犯講座」を実施した。
	「イザ！カエルキャラバン！」開催支援事業	子どもを中心とした若いファミリーを対象に、楽しみながら防災について学べる防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン」を開催する地域・学校に対し、物品の貸出し及び運営アドバイス等を実施した。

地域で互いに支え合うまちづくり	とよひらまちづくりパートナー事業	多様な担い手によるまちづくり活動を推進するため、地域のまちづくりに参加・協力する意欲のある企業・学校・各種団体を「まちづくりパートナー」として登録し、地域とマッチングしている。令和6年度は新たに4社が加わり、計63の企業・団体が活動した。
	地域のデジタル活用支援事業	電子回覧版やSNSを活用して、まちづくり活動の活性化につなげるため、区内で活動する地域団体を対象に、まちづくり活動に役立つデジタル技術に関する出前講座を実施した。
豊かな自然・四季と共存するまちづくり	とよひら HANA-LAND 事業	自然に恵まれた緑多い豊平区を花で彩り、色彩豊かな美しい街並みを目指すとともに、花を通じたふれあいの場を作り地域の連帯やふるさと意識を育むことを目的とした植花活動を支援する取組み。令和6年度は地域へ64,674株、小学校へ3,550株の花苗を配布し、地域の植花活動を支援した。
	リンゴ並木を活用した区の魅力PR事業	区のシンボルである「環状通リンゴ並木」で収穫されたリンゴを活用して、地元の小学生が地域の歴史やまちづくり活動を学ぶ支援を行ったほか、プロスポーツチームや円山動物園へのリンゴ贈呈式や区役所でのリンゴ配布を通じて（合計2,558個のリンゴを贈呈・配布）、自然豊かな豊平区の魅力をPRした。

清田区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
安心して生活できる環境づくり	「きよっちの森」どんな子も安心して乳幼児健診を受けられる環境整備事業	健診会場のリニューアルで「計測や診察への流れをスムーズにできるようなナッジの利用」「子ども目線の視覚支援により、どんな子にも安心感を」「子どもも親もリラックスできる空間」を実現した。
	若い世代に向けた認知症理解を促進する事業	若い世代にも認知症に関する正しい知識と理解を得ることで、地域で認知症の方や家族を温かく見守る目を増やすことを目的に、区役所で、認知症 VR 体験会、認知症講座を開催した。
賑わいづくりの拡大	地域交流拠点を中心とした賑わい創出事業	食と音楽による清田の魅力発信を目的に、清田区産の農産物や「きよたスイーツ」を販売する「きよたマルシェ&きよフェス」を9月に開催し、キッチンカーの出店や地元農家による野菜直売会、キッズゾーンや屋上でのビアガーデン、モルック体験を実施した。また、清田地区商工振興会と連携し、モルックの大会を開催した。
	音楽イベント「きよフェス」開催事業	きよフェスでは5組のアーティストによる音楽ライブ等を行い「きよたマルシェ」と同日開催とした。
	スポーツ振興事業	区内の競技団体や清田区スポーツネット、札幌国際大学と連携し、各競技の大会や体験会、子ども向けのスポーツ体験イベント「Fun×Fan Sports in きよた」を開催した。
区内外への情報発信	自然ふれあいまちづくり事業	区の地域資源である豊かな自然を活用した事業として「フラワーアレンジメント体験講座」、地元企業と共催にてネイチャーツアーを実施した。また、JA さっぽろの協力を得ながら地元農家で収穫体験を実施した。
	KIYOTA SWEETS 推進事業	スイーツを通じて区の魅力を発信し地域の活性化を図るため、区内菓子店と協力して設立した「きよたスイーツ推進協議会」を中心に、「きよたスイーツスタンプラリー」をデジタルと併用して実施したほか、区内外のイベントでの出展・PR等を行った。
多様な地域活動と交流の促進	子どもまちづくり事業	区に対する愛着やまちづくりに参加する意識を持ってもらうため、おしごと体験型イベントの開催や区に関する歴史や自然環境等を内容とする検定を実施した。
	清田区災害時助け合い活動支援事業	地域における自主的な取組推進を図り、かつ災害発生時の住民同士の支え合い活動を推進するため、出前講座の実施・清田区防災訓練において災害時支え合いハンドブックを配布するなど普及啓発を行ったほか、「清田区災害時助け合い活動意見交換会」の実施や、各地域で抱える課題に応じた名簿活用等の働きかけなど、地域の実情に応じた取組の支援を行った。
	安全安心まちづくり事業	防犯意識の向上を図るため、児童を対象とした「安全教室」を実施したほか、児童の交通安全対策のため、スクールゾーン等通学路内の歩道部分上に貼るストップマークステッカーを作成し、各学校に配布。デジタルサイネージを活用し、清田区の情勢を踏まえた防犯情報の発信を行った。また、防犯意識の啓発や地域防犯活動の活性化を目的に各種啓発活動を実施した。
	環境にやさしいまちづくり事業	「アダプト・プログラム制度」には区内20団体（令和6年4月）が参加し、地域と行政の協働による環境美化活動を推進したほか、ホテル観賞会や旧道の環境保全関連事業を実施した。
子育て世帯、高齢者の取組充実	単身高齢者へのカレンダー配布事業	緊急連絡先や福祉の相談窓口等を掲載し、区内の風景や地域行事の写真をデザインに利用したカレンダーを制作。民生委員・児童委員等を通じて一人暮らしの高齢者等に配布した。
	安全・安心な食のまち・きよた推進事業	食の安全・安心に関する啓発活動を行うとともに、区役所庁舎内において「食の安全・安心クイズラリー」を実施し、区民の啓発に努めた。
まちづくりセンターを活用したまちづくり	北野まちづくりセンター	みどりのカーテンや花苗等の緑化、ペレットストーブの活用により環境負荷の低減と環境美化に関する取組の支援を継続した。
	清田中央まちづくりセンター	災害時対応強化として防災資材の充実を図るとともに、各種事業や研修実施を支援するために環境整備を進めた。
	平岡まちづくりセンター	町連や各福祉団体の啓発事業と連携した交通安全や子育て関係の啓発事業を効果的に行った。
	清田まちづくりセンター	地域の諸団体と連携し、「きよたまちの灯り」等への支援を行ったほか、環境美化活動として清掃活動や、不法投棄の注意喚起のための活動を行った。
	里塚・美しが丘まちづくりセンター	防災意識の向上を図るため、町連秋まつり、防災訓練や避難所運営研修等で防災啓発品を配布した。

南 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働	まちづくりセンター協働事業	地域力の向上を図るため、地域のまちづくり活動を、まちづくりセンターが中心となって支援・展開した。
わがまち地域活性化	まちづくり推進事業	インターネット環境を整備し、まちづくりに関する情報収集力及び情報発信力を高め、まちづくり活動を推進するため必要な環境の整備を進めた。
	南区地域ふれあい事業	地域力の向上や地域のコミュニティづくりの進展が期待される事業に対して助成金を交付した。
	学生が主体的に取り組むまちづくり活動への助成事業	学生団体の自主的なまちづくり活動が継続的に行われるための支援として、南区の「魅力」を様々な方法で発信することを目的とする事業に対して助成金を交付した。
	地域資源を活用した南区の魅力PR事業	札幌市立大学生のデザインによる南区魅力PR用啓発品の作成のほか、「アートのみち」をPRするため、市内を走行する路線バスにアート装飾を施して通年走行を行った。
	地域の芸術・文化活動を通じた南区まちづくり事業	地域と連携したアートプロジェクトの企画運営や地元アーティストの活動紹介、南区アートシーズンの実施など、「南区＝アートのまち」推進に資する事業を実施した。
	南区子ども交流事業	子どもたちが他地域との交流を通じて新たな友情・協調性・社会性を養うため、子どもの居場所づくり南区「遊びの広場」など関係団体の活動を支援した。 子どもの関係団体が、子どもたちが他地域との交流を通じて新たな友情・協調性・社会性を養うために行っている活動を支援した。
	スポーツ振興事業	地域におけるスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会の支援などを行った。
	レクリエーションスポーツ振興事業	生涯スポーツ社会を推進するため、誰もが楽しめるレクリエーションスポーツの普及と、レクリエーションスポーツ用具の貸出等を実施した。
	男女共同参画事業	男女の人権が十分尊重され、豊かで活力に満ちた男女共同参画社会の実現のためパネル展等を実施した。
	高齢者教室事業	高齢者の生涯学習や地域活動参加のきっかけづくりとして、各種講座を開催した。
	みなみ区・災害に強いまちづくり事業	連合町内会等が行う防災訓練や防災研修会等に対して、講師派遣等の開催支援を行い、地域防災力の向上を図った。
	地域へ広げる南区子育て支援キャラクター事業	子育て世代の交流の場づくり促進のため、南区子育て支援キャラクター『さくらんぼちゃん』を活用し、子育てサロンや保育園のイベントへの参加、スタンプラリー実施、着ぐるみ貸出、さくらんぼ農家や市内を走行する路線バスへのポスター掲示、啓発品配布等認知度向上を図った。
区民協議会特別推進	シーニックバイウェイとの連携事業	当該団体が取り組むまちづくり活動の支援及び関係団体間の連絡調整等や当該団体の取組及び南区の魅力の情報発信を行った。
地域ネットワーク促進	花による南区イメージアップ事業	区内各所を花で彩ることで南区の魅力を向上させるため、地域住民による地下鉄真駒内駅周辺の花植え活動や、区のシンボルであるコスモスの種付き啓発品の配布を行った。
	まちづくり活動スタートアップ支援事業	地域住民の自主的なまちづくり活動が継続的に行われるためのスタートアップ支援として、地域課題の解決に向けて活動している団体の新規事業に対して助成金を交付した。

西 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちセン地域サポート事業	区内8か所のまちづくりセンターが、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえた独自事業を企画・実施し、地域力の向上を図った。
わがまち・地域活性化事業	西区文化フェスタ	区内の複数施設において、コンサートやダンス、演劇等の多様なジャンルの公演を計12公演実施。区民が気軽に文化芸術に触れることができる機会を提供し、区民の文化意識向上を図った。
	コトニジャズ・コトニクラシック	地下鉄琴似駅や区内の身近な場所を会場に、ジャズやクラシックのコンサートを開催。区民が気軽に本格的なジャズやクラシックに触れられる機会を提供し、区民の文化意識向上を図った。
	にしく♪ちびっこミュージックプロムナード	子ども向けの楽曲によるクラシックコンサートを開催。未就学児とその保護者に本格的な演奏に触れる機会を提供し、文化芸術意識の醸成を図った。
	こども・あーと・にしく	エコな透明絵の具「ディンブルアート・カラー」でステンドグラス風の作品を制作するワークショップを開催。子どもたちが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供し、文化意識向上を図った。
	アイスクャンドル普及PR事業	西区内の各地域で行われるアイスクャンドル事業のPRや区役所周辺のキャンドル設置等を行い、冬期間の街並みの景観向上と地域住民の交流促進を図った。
	地域の防災力向上事業	地域住民を対象に避難所を開設するために必要な手順を体験する訓練や、地域の自主防災組織を対象に、防災資機材の取扱や応急手当を学ぶ研修等を実施し、地域防災力の強化を図った。
	西区まちづくり活動助成事業	地域住民の主体的なまちづくり活動の促進や地域コミュニティの形成に効果のある事業に対し助成金の交付を行い、住民相互の連帯感の醸成や区民意識の高揚を図った。
	琴似発寒川環境保全推進事業	琴似発寒川河畔において、地域主体の一斉清掃を行い、環境意識の高揚等を図った。また「やまめ」の稚魚を放流し、子ども達や地域住民の川を守っていこうという思いや、育ったまちへの愛着心を醸成した。
	地域と連携した食を通じた健康づくり事業	野菜を使ったレシピコンテストの実施や、野菜摂取啓発リーフレットを作成したほか、働く世代向けの減塩教室を開催し、区民が日常的に「野菜摂取」や「減塩」等が実践できるような環境づくりを進めた。
区民協議会特別推進事業	西区環境まちづくり協議会支援事業	川や公園での自然体験を通して環境について学ぶ「エコキッズ・プログラム」「西区コドモ自然学校」や、楽しみながら環境について学ぶ「西区こども環境広場」など、西区の区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」が実施している様々な環境活動の支援を通じて、西区民の自主的かつ継続的な環境活動の推進を図った。
	西区アダプト・プログラム	町内会や企業等の団体が行う環境美化活動（道路や公園の清掃、冬の砂まき等）に対して、清掃用具の提供や傷害保険の加入等の活動支援を行い、市民と行政との協働による環境美化活動を推進した（令和6年度は新たに1団体が加わり、合計58団体となった）。
地域ネットワーク促進事業	子どもの見守り活動支援及び子どもへの交通安全啓発事業	地域の自主防犯組織等による子どもの見守り活動の支援や、交通安全の啓発のため安全確認が必要な道路や交差点の道路上に貼付するストップマークを作成・配布を行い、地域の安全・安心なまちづくりを推進した。
	西区SDGs普及啓発事業	「西区SDGsフォトコンテスト」を開催したほか、区内の企業や団体と連携し、工場見学会やスポGOMI大会を実施し、SDGsに関する情報発信や普及啓発、関連団体とのパートナーシップの形成を図った。

手稲区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	自治の拠点「まちづくりセンター」を通じた地域まちづくり支援	区内7か所のまちづくりセンターを中心に、まちづくり協議会など地域との協働により、地域課題解決のきっかけづくりを行った。 また各まちづくりセンターごとに、各地区の活動や出来事を紹介する情報誌を15,570部発行。併せて区ホームページにも掲載した。
わがまち・地域活性化事業	小学生の夢・10年後の手稲のまち事業	区内全小学4年生から「10年後の手稲のまち」をテーマとした絵を募集し、アイデア作品賞について表彰を実施した。
	高齢者教室「手稲区稲苑大学」の運営	高齢者が積極的に教養を高め、生きがいと潤いのある生活を目指す意欲を向上させるとともに、共に学ぶ仲間との交流を深めるため、一般教養をはじめ福祉やまちづくりなど多岐にわたる分野の講座等を実施した。
	北海道科学大学との連携	北海道科学大学・手稲区連合町内会連絡協議会・手稲区で締結した「地域包括連携協定」と「防災連携協定」に基づき、様々な事業において連携し、人的・知的資源などの相互活用を図った。
	小樽市・石狩市・手稲区交流事業	交通安全街頭啓発、「あいくる」や「石狩さけまつり」での観光プロモーションイベント、小学生バドミントン大会等を実施するなど、両市との連携の強化を図った。
	男女共同参画推進事業	日常生活において男女がともに支え合い、それぞれの個性と能力が発揮できる社会の理解を深めるため、パネル展及び公開学習会を実施した。
	子どもの居場所づくりへの支援	地域の異なる年齢の子ども達が、安全で安心して仲良く遊べる環境（居場所）を、子どもに関する団体が連携して提供し、子どもの健全育成を図るとともに、この環境を地域に広げていく。
	ていぬ活用事業	区民の手稲区へのふるさと意識の醸成・愛着を向上させるため、区内の小学新一年生に「ていぬオリジナルノート」を配布。
	「手稲区ガイド」の発行	手稲区ほぼ全域の地図と区内の公共施設や区の概要など身近な情報を記載した「手稲区ガイド」を7,500部作成し、区内各所で配布した。
	広報媒体多様化による区の情報発信機能強化事業	「地域活動の活性化」及び「安全・安心なまちづくり」を推進するため、地域住民に慣れ親しまれているコミュニティ放送を活用し、地域に密着した情報を発信した。
	災害時要配慮者地域支え合い事業	災害時に自分や家族の力だけでは避難できない要配慮者（高齢の方、障がいのある方、妊産婦など）の避難にかかる地域の自主的な取組を推進するため、取組実践集を作成し、意見交換等を交えた研修会を行った。
区民協議会特別推進事業	区の魅力発信強化事業	手稲区マスコットキャラクター「ていぬ」を活用した区の魅力発信を「ていぬく情報・文化発信コーナー（ていぬの部屋）」で行い、来庁者に対する手稲区への愛着意識のより一層の向上を図った。
	区民協議会「ていねっていいね！区民の集い」支援事業	6月に総会、3月に北大大学院教授の山中康裕氏を講師に招き、SDGsに関する講演会を実施した。また、参加団体の活動紹介集を作成した。